

地域医療支援病院の業務報告

救急用又は患者輸送用自動車により搬入した
救急患者数の実績

項目	年度	
	令和4年度	令和5年4～9月
在院患者延数	72,414名	38,053名
紹介率	89.6%	93.6%
逆紹介率	89.3%	76.7%
平均在院日数	18.3日	17.7日
病床利用率	61.5%	67.6%

項目	年度	
	令和4年度	令和5年4～9月
搬送数	561回	305回

地域連携室の活動状況(令和5年度上半期)

かかわった入院	全入院患者の69.1%
かかわった退院	全入院患者の51.6%
相談件数	院内4,795件
	院外958件

栄養関連ニュース

消費期限と賞味期限の違いについて

消費期限

袋を開けていない状態で、書かれた保存方法を守って保存していた場合に、この「年月日」まで、「安全に食べられる期限」のこと。お弁当、サンドイッチ、生麺、ケーキなど、傷みやすい食品に表示されています。

賞味期限

袋を開けていない状態で、書かれた保存方法を守って保存していた場合に、この「年月日」まで、「品質が変わらずにおいしく食べられる期限」のこと。スナック菓子、カップ麺、チーズ、缶詰、ペットボトル飲料など、消費期限に比べ、傷みにくい食品に表示されています(作ってから3ヶ月以上もつものは「年月」で表示することもあります)。この期限を過ぎても、すぐに食べられなくなるわけではありません。

※ただし、消費期限も賞味期限も、一度開けてしまった食品は、期限に関係なく早めに食べるようにしましょう。

引用:農林水産省HP



《基本理念》

地域医療支援病院 オープンシステム 徳山医師会病院は医道の昂揚、医学・医療の発達普及及び公衆衛生の向上、社会福祉の増進につとめます。

1. 人間としての尊厳を守り、良質で適切な医療・看護を目指します。
2. 全人的医療を目指し、十分な情報を提供し、信頼関係に基づいた医療を行います。
3. 病診連携を図り、一致協力し、地域社会の要請に応える医療を提供します。

《基本方針》

1. 安心安全の医療を推進します。
2. 患者さん本位の医療を推進します。
3. 地域に開かれた医療を展開します。



編集後記

2023秋、緑色や茶色っぽい色をした虫が大量発生しました。家の天井や廊下を闊歩したり、洗濯物にくっついては家の中へと侵入、追い出そうとすると強烈な臭いを放つ始末。そんな彼らも冬が近づき急に寒くなったためか姿をあまり見せなくなりほっとしています。今年は、全国的に秋が暖かった事が異常発生の原因の一つの事ですが、西日本では冬も例年より暖かく過ごしやすくなりそうです。



徳山医師会病院だより



2023年 第62号
発行元 地域医療支援病院
オープンシステム
徳山医師会病院
〒745-8510
周南市東山町6番28号
TEL 0834-31-2350
FAX 0834-31-1623
<http://www.tokuyamaishikai.com/>



季節性インフルエンザについて

徳山医師会病院 院内感染対策委員長 長谷川博康

季節性インフルエンザがすでに流行

新型コロナウイルス感染症が流行した2020年から2022年は、季節性インフルエンザの流行はありませんでした。新型コロナウイルス感染症は、5月8日から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行しました。感染対策の1つであるマスクを外して過ごす方も増えました。また、水際対策も緩和され、インバウンドの回復が加速したことにより、海外との往来も増加しています。そのため今シーズンは、世界中でインフルエンザの感染が広がる可能性があります。

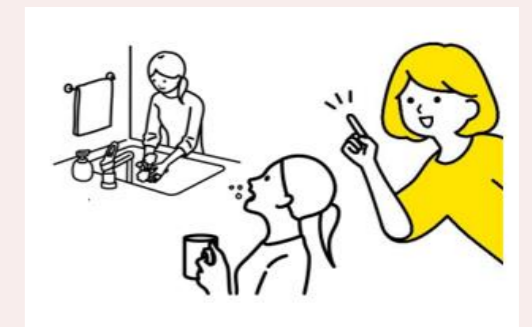
インフルエンザとは

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。インフルエンザウイルスは、A型、B型、C型に大きく分類されます。このうち、大きな流行の原因となるのはA型とB型です。A型とB型は同時期に流行することがあるため、同じシーズンの中でA型とB型にかかったりするのはそのためです。

症状としては、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等が比較的急速に現れるのが特徴です。あわせて、普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。子供ではまれに急性脳症を、高齢者や免疫力の低下している人では二次性の細菌性肺炎を伴う等、重症になることがあります。

インフルエンザの予防について

- ・インフルエンザワクチンの接種
- ・人込みや繁華街への外出を控える
- ・外出時のマスク着用
- ・室内では加湿器などで、適度な湿度に保つ
- ・十分な栄養、バランスの良い食事の摂取
- ・うがい、手洗いの励行
- ・咳エチケット



当院では受診の際「開業医」の紹介が必要です。
当院での診察や検査をご希望の方は「かかりつけ医」若しくは「開業医」へご相談ください。

4年ぶりの集合形式での接遇研修を実施しました。

徳山医師会病院 サービス向上委員会

当院では4年ぶりとなる集合形式での接遇研修をR5.10.26(木)に開催しました。

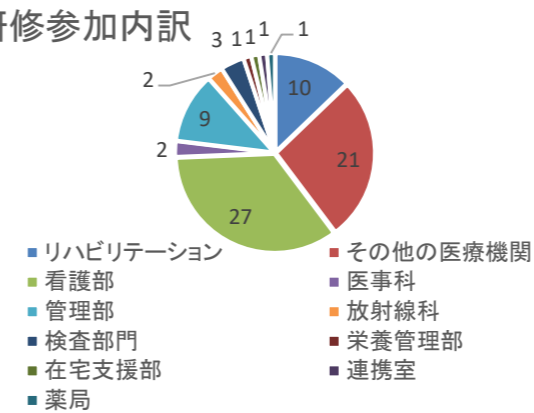
当院のサービス向上委員会では、毎年集合形式での接遇研修を開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、4年前より集合形式での開催が困難な状況となってしまいました。昨年はリモート研修の形で院内職員には動画視聴での研修を行いましたが、この度は、院内・登録医の従業員の方々にも参加してもらい、集合形式での接遇研修を開催することができました。

接遇研修を開催するにあたり、『オーブパーソナリティオフィス』の松原淳子先生をお招きし、「ワンランク上の自分になる～ケアコミュニケーションの視点から～」という表題から言葉づかい、職員間のコミュニケーション、アンガーマネジメントの基礎、クレーム対応などのご講演をいただきました。4年ぶりの開催でありましたので、医療接遇の基礎的なところからマスクをつけての対応、コミュニケーションの方法、怒りへのコントロールについてなど、盛りだくさんの内容のお話をいただき、職員一同大変参考になるお話でした。

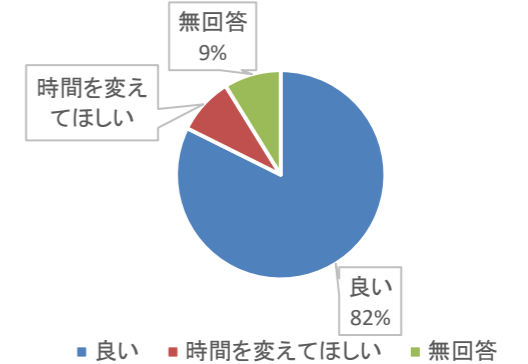


接遇研修後、アンケートを実施し、アンケート集計を行いました。

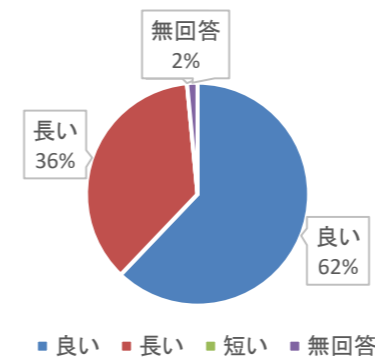
研修参加内訳



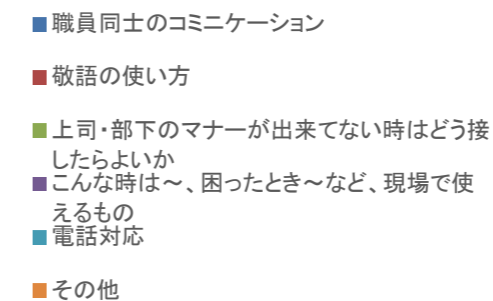
開始時間はいかがでしたか



研修時間はいかがでしたか



今後の研修内容について要望



来年も集合形式での接遇研修を実施予定です。アンケート内容も精査し、研修内容や研修時間、研修開始時間など考慮し、出来るだけたくさんの職員の方に参加していただけるよう努力してまいります。患者様、ご家族の方に、満足していただける病院を目指し、日々気持ちよ良い対応を行っていただけるよう努力してまいります。